

青森県海区だより

発行 9月25日 (第6号)

〒030-8570

青森市長島1-1-1

青森県海区漁業調整委員会事務局

TEL 017-734-9851

FAX 017-734-8166

e-mail Kaiku@pref.aomori.lg.jp

HP http://www.pref.aomori.lg.jp/kaiku/

8月・9月に開催した委員会など

内水面漁場管理委員会

- ・開催月日：8月31日
- ・出席者：沼邊会長、青山会長代理、坂本、小林、松尾、祖父江、丹藤、七戸、藤田(以上委員)、中谷内水面研究所長、坪田水産振興課長他2名(以上県)、須川所長他2名(以上水産事務所)、田中局長他3名(事務局)
- ・議案：第1号 遊漁規則の変更の認可について(原案議決)
第2号 遊漁規則の変更の認可について 岩木川漁業協同組合内共第14号に係る件(原案議決)
第3号 遊漁規則の変更の認可について 新井田川、島守漁業協同組合内共第49号に係る件(原案議決)

第42回青森県愛魚週間開会式

- ・開催月日：9月7日
- ・出席者：沼邊会長、木村次長(事務局)
- ・開催地：東通村南地区基幹集落センター、老部川
- ・主な内容：河川清掃、体験学習(ヤマメの放流)、式典(開会式、表彰式、講演会「さくらますをふやすためにその生態特性と河川環境 講師 間山 紘氏」)



来賓挨拶 沼邊会長



ヤマメの放流(撮影 鈴木亮氏 むつ水産事務所)

平成18年度「青森県豊かな海づくり大会」

- ・開催月日：9月9日
- ・出席者：船橋会長、川口会長、田中局長(事務局)
- ・開催地：青森市青い海公園(アスパム横)
- ・主な内容：式典、「浜の声」発表、大会決議、稚魚放流、即売会・展示会



川口東部海区会長(左)、船橋西部海区会長



「青森県水産大賞」受賞者の皆さん・澤口東部海区委員(後列右)

西部海区漁業調整委員会

- ・開催月日：9月12日
- ・出席者：船橋会長、西崎会長代理、古川、工藤、福井、富田、森、川山、堀内、角田(以上委員)、野呂水産課長他1名(以上水産事務所)、坪田水産振興課長他2名(以上県)、田中局長他3名(事務局)
- ・議案：第1号 沿岸域におけるさけ漁業の制限に係る委員会指示の発動について(原案議決)

第2号 ふぐの採捕を目的とするはえなわ漁業の操業に係る委員会指示の発動について(原案議決)

- ・報告事項：平成19年度水産庁への要望事項他

東部海区漁業調整委員会

- ・開催月日：9月13日
- ・出席者：川口会長、松本会長代理、東田、上野、泉、熊谷(ヒ)、富田、田高、川端、熊谷(拓)、服部(以上委員)、山口所長他1名(以上水産事務所)、天野GL他2名(以上県)、田中局長他3名(事務局)
- ・議案：第1号 沿岸域におけるさけ漁業の制限に係る委員会指示の発動について(原案議決)
- ・報告事項：平成19年度水産庁への要望事項他

全国内水面漁業振興大会

- ・開催月日：9月14日
- ・出席者：沼邊会長、木村次長(事務局)
- ・開催地：仙台市
- ・大会スローガン：「河川環境の多様性を再生しよう」「カワウを狩猟鳥獣に指定させよう」「ブラックバスの再産卵を禁止させよう」「アユ冷水病ワクチンの早期実用化を要求しよう」
- ・主な内容：
 - (1) 経過報告(略)
 - (2) 議事 議案の1 内水面漁場環境の保全対策に関する件
議案の2 カワウと外来魚による食害対策に関する件
議案の3 アユ冷水病対策について
議案の4 漁業権侵害における罰則の強化について
議案の5 内水面漁業振興予算の強化拡充について
 - (3) 大会宣言(略)

平成18年度全調連事務局職員研修会兼都道府県漁業調整担当者会議

- ・開催月日：9月21-22日
- ・出席者：出町主査(事務局)
- ・開催地：静岡市
- ・主な内容：
 - (1) 漁業と遊漁の調整：漁業と遊漁のトラブル防止のためにルールづくり、委員会指示の状況、トラブル防止のための遊漁者・漁業者等への指導などについて、数海区から報告を受け、課題などの検討を行った。
 - (2) 沿岸漁業と沖合漁業の調整：沿岸漁業と沖合漁業のトラブル防止のための委員会の対応、協定などについて、数海区から報告を受け、課題等の検討を行った。
 - (3) 漁業権切替えに伴う技術的助言：来年の定置漁業権、区画漁業権の切替えをひかえ、漁業権に係る知識を深めるため水産庁の研修を受け、各県が抱える問題等について質疑・応答を行った(講師 水産庁沿岸沖合課 加藤免許調整係長)

大型クラゲ(エチゼンクラゲ)情報

大型クラゲの出現状況を昨年と比較しますと、「昨年同時期には、山陰(隠岐島周辺を含む)から北海道(主に日本海側)、東北(岩手県)にかけての定置網等複数の漁業種類で入網が確認され、山陰や北陸では一部の定置網や底引き網等複数の漁業種類で破網したとの情報が寄せられました。本年は、これまでのところ、このような漁業被害があったとの情報は寄せられていません(社)漁業情報サービスセンター他、9月19日による)ここ数年のような大量来遊がないように願うばかりです。